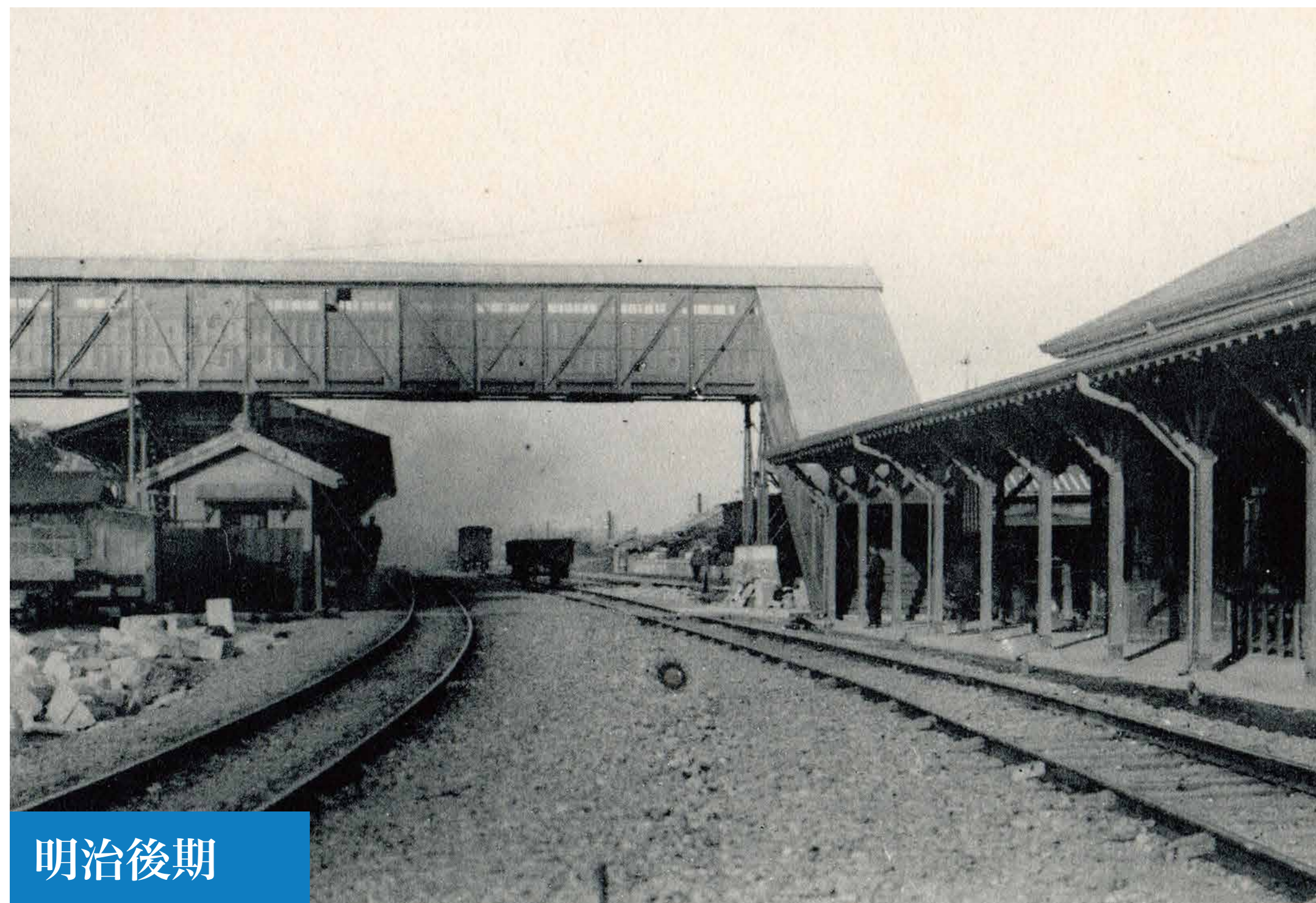


## このまちの100年

# 「大森」

明治時代にモース博士が発見した、大森貝塚にも示されるとおり、古くから人々の暮らしが営まれていた地。明治5年に日本初の鉄道が開業した4年後に、大森駅が置かれます。行楽客が増え、別荘地・住宅地としても発展しました。



明治後期

明治5年日本初の鉄道路線が開通後、明治9年に大森駅が開業した



明治後期

大森駅付近を走る京浜電気鉄道(現在の京浜急行電鉄)の車両。大森駅が終点だった



明治後期

東京湾初の海水浴場が大森に開設された



大正末期～昭和初期

外国人の誘致も視野に入れていた大森ホテル



昭和戦前期

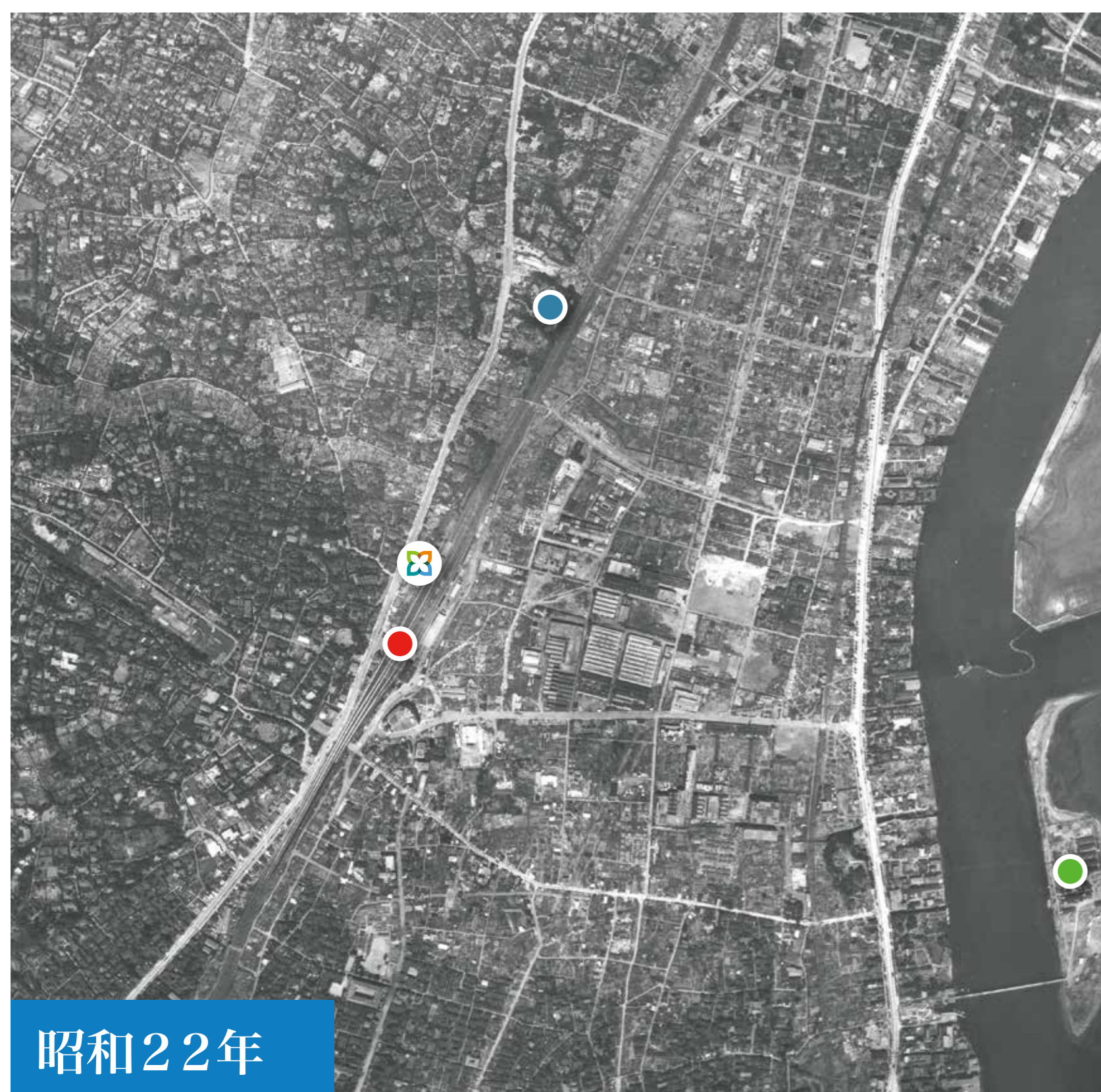
蒲田撮影所が開所すると、『流行は蒲田から』といわれ華やかになった



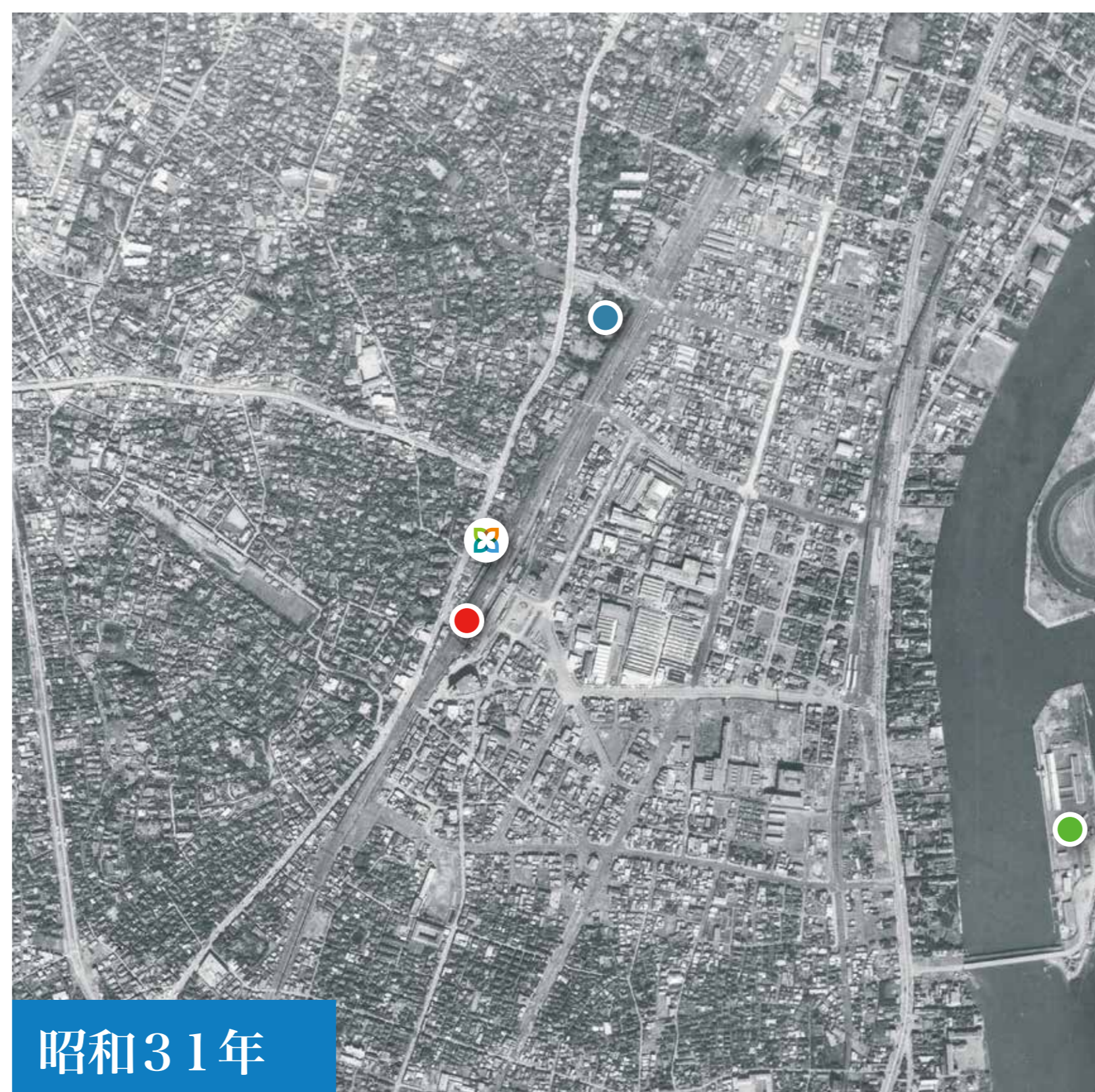
昭和20年

太平洋戦争中、現在の平和島の一部には、東京俘虜収容所が設置された。終戦直後、収容されていた俘虜のために米軍が投下した救援物資を運び込む様子

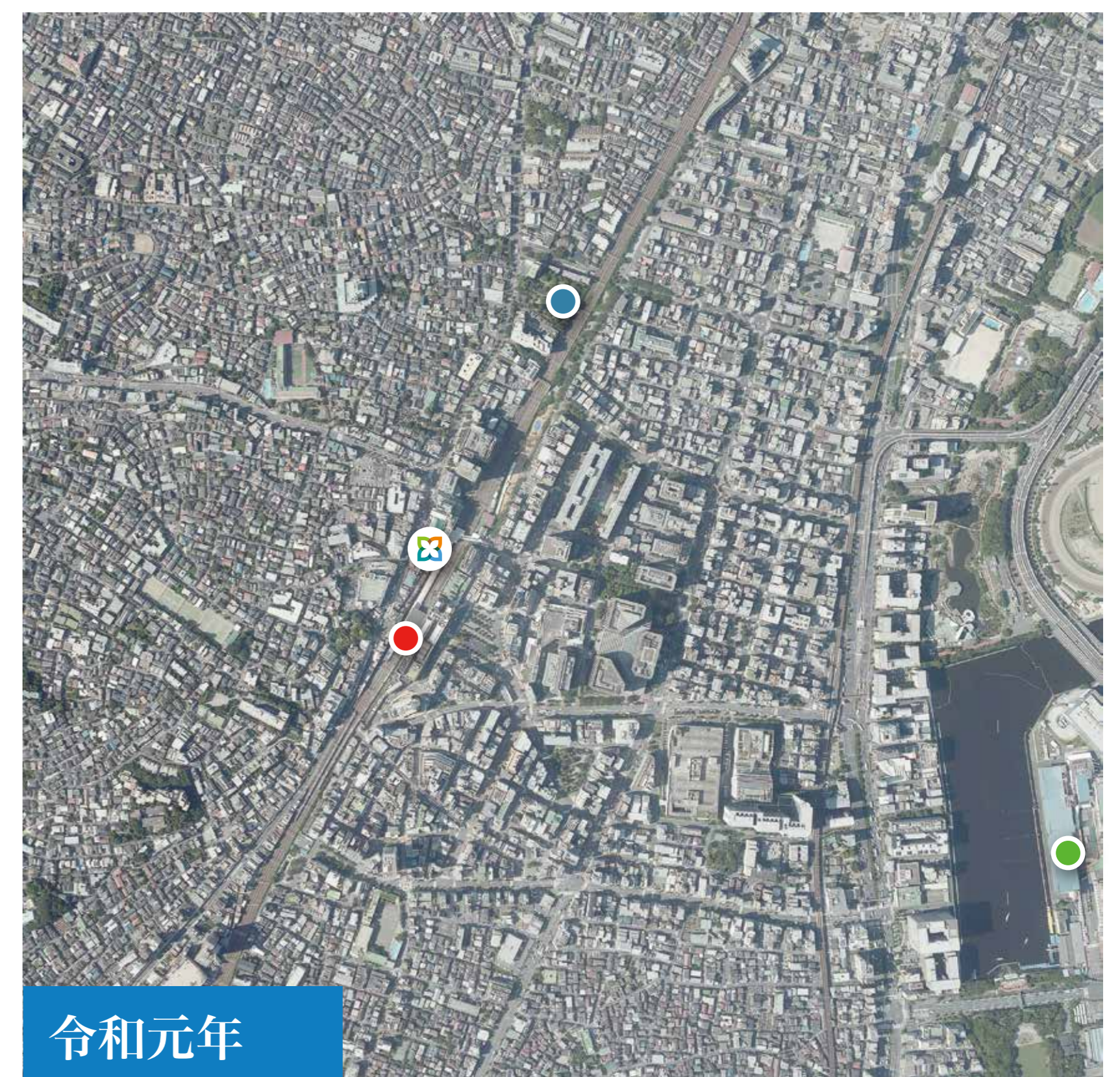
## 上空からみた大森エリア



昭和22年



昭和31年



令和元年

 : 現在地  
 : 大森貝塚  : 平和島  : 大森駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ